



# CHAPTER 1

## 概要

---

Cisco IPICS Dispatch Console は、Cisco IP Interoperability and Collaboration System (IPICS) をクライアント (スタンドアロン) PC にインストールして実行するコンポーネントです。無線、電話、モバイル デバイス、または PC を介して他のユーザとコミュニケーションできるグラフィックベースのアプリケーションです。さらに、Virtual Talk Group (VTG; 仮想トーク グループ) やインシデントに参加したり、さまざまなリソース (チャンネル、無線、インシデント、VTG など) の管理と操作を行ったり、他のさまざまなアクティビティを実行したりすることも可能です。

また、Cisco IPICS の Dispatcher ロールまたは All ロールを持つユーザは、Cisco IPICS Dispatch Console を使用して VTG およびインシデントの作成、Cisco IPICS ポリシーのアクティブ化、ならびに電話コールの配置および接続を行うことが可能です。

Cisco IPICS Dispatch Console では、IPICS Connect 機能にもアクセスできます。この機能ではプライベートおよびグループ無線コールを作成したり、アラートを Nextel 無線に送信できます。

この章では、Cisco IPICS Dispatch Console 操作の概要と、いくつかの一般的タスクの実行方法について説明します。この章には次のトピックが含まれます。

- 「クライアント PC」(P.1-2)
- 「Cisco IPICS Dispatch Console の起動」(P.1-3)
- 「Cisco IPICS Dispatch Console の終了」(P.1-5)
- 「Cisco IPICS Dispatch Console ライセンス タイプ」(P.1-6)
- 「Cisco IPICS Dispatch Console の動作モード」(P.1-7)
- 「Cisco IPICS Dispatch Console ユーザ タイプ別に使用可能な機能」(P.1-8)

- 「インシデントについて」 (P.1-9)
- 「ハイ アベイラビリティ展開における Cisco IPICS Dispatch Console の使用方法」 (P.1-10)
- 「アップグレードについて」 (P.1-10)

## クライアント PC

クライアント PC とは、Cisco IPICS Dispatch Console をインストールして操作する PC のことです。クライアント PC の最小要件の詳細については、『Cisco IPICS Compatibility Matrix』を参照してください。

クライアント PC には、次のガイドラインが適用されます。

- クライアント PC の WAVE Engine サービスが実行中であることを確認します。WAVE Engine サービスは、Cisco IPICS Dispatch Console のインストール時にクライアント PC にインストールされて起動します。関連情報については、「WAVE Engine サービス要件」 (P.2-7) を参照してください。
- .NET Framework 3.5 SP1 以降がクライアント PC にインストールされている必要があります。
- クライアント PC で実行する Cisco Security Agent (CSA) などのセキュリティプログラムを、Wave Engine サービス (WaveEngine.exe) および RunIDC.exe プロセスを信頼するように設定します。
- クライアント PC の Windows タイム サービスを、Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) サーバと同期させることを推奨します。Cisco IPICS Dispatch Console が接続する Cisco IPICS サーバは、NTP サーバと同期しています。
- クライアント PC のインシデントからビデオ (bwims 形式の Cisco Video Surveillance Manager ビデオを除く) を見るには、VLC メディア プレーヤーがクライアント PC にインストールされている必要があります。bwims 形式のビデオには、Cisco Video Surveillance Client が必要です。これは、Cisco IPICS Dispatch Console プロセスの一部としてインストールできます。
- Cisco IPICS Dispatch Console の実行中にはクライアント PC で音声アプリケーションまたは Voice over IP (VoIP) をいっさい実行しないでください。
- クライアント PC で一度に開ける Cisco IPICS Dispatch Console インスタンスは 1 つだけです。有効な Cisco IPICS ユーザであれば何人でもクライアント PC 上の同じ Cisco IPICS Dispatch Console を使用できますが、同時には使用できません。

# Cisco IPICS Dispatch Console の起動

Cisco IPICS Dispatch Console を起動するには、クライアント PC で次の手順を実行します。

ログイン前に、ガイドラインを確認します。

- Cisco IPICS システムでは、クライアント PC 上で同時に 1 つの IDC アプリケーションのインスタンスがサポートされます。
- 他の IDC ユーザがすでにログインしているクライアント PC の IDC にログインする必要がある場合、最初のユーザがログアウトする必要があります。
- 有効な Cisco IPICS ユーザであれば何人でも同じ IDC アプリケーションを使用できますが、同時には使用できません。
- クライアント PC に Window 管理者権限でログインしていること、または「[インストール ディレクトリ](#)」(P.2-2) に一覧されているディレクトリに対して書き込み権限があることを確認します。
- 無線が正常に動作することを確認するには、無線と同じロケーションを使用して Cisco IPICS Dispatch Console にログインします。他のロケーションからログインした場合、Cisco IPICS Dispatch Console からシリアル無線制御は動作せず、トーン制御機能が制限されます。ただし、「[シリアル制御無線の \[Radio Details\] タブ](#)」(P.3-26) に記載のとおり、Serial Radio Control Interface (SRCI; シリアル無線制御インターフェイス) からシリアル制御にアクセスできます。関連情報については、『*Cisco IPICS Administration Guide*』の「Managing Radios and Radio Descriptors」の章を参照してください。

## 手順

**ステップ 1** 次のいずれかの操作を実行します。

- Windows デスクトップの Cisco IPICS Dispatch Console アイコンをダブルクリックします。
- [Start] > [Programs] > [Cisco Systems] > [IPICS Dispatch Console 4.0] > [IPICS Dispatch Console 4.0] を選択します。

Cisco Security Agent (CSA) などのネットワーク セキュリティ ソフトウェアがクライアント PC にインストールされていて、アクセス権限のダイアログボックスが表示された場合は、[Yes] をクリックして Cisco IPICS Dispatch Console がメディアデ

バイス（マイク）をモニタできる権限を付与します。[Don't ask me again] チェックボックスがオプションとして表示された場合、これをオンにしてセキュリティソフトウェアが二度とメッセージを表示しないようにすることができます。



**(注)** CSA のタイムアウトを [No] のデフォルト値に基づいて許可した場合、Cisco IPICS Dispatch Console はトラフィックの受信または送信ができないか、あるいはトラフィックの受信のみができる可能性があることに注意してください。この場合、アクティブな会話があれば聞けますが、伝送はできません。

Cisco IPICS Dispatch Console ログイン画面が表示されます。

- ステップ 2** ポップアップ ウィンドウで証明書のダウンロードを要求された場合、画面の指示に従います。
- Cisco IPICS サーバに初めて接続を試みた場合で、クライアント PC がサーバからの有効な信頼証明書を保持しないときは証明書のインストールを要求されます。
- ステップ 3** Cisco IPICS Dispatch Console ログイン スクリーンで、次の操作を実行します。
- [Server] フィールドに、接続する Cisco IPICS サーバの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
  - [User Name] フィールドに、Cisco IPICS ユーザ名を入力します。
  - [Password] フィールドに、Cisco IPICS パスワードを入力します。
  - [OK] をクリックします。
- ステップ 4** [Recommended Upgrade] ダイアログボックスまたは [Mandatory Upgrade] ダイアログボックスが表示された場合、次のいずれかの操作を実行します。
- システムが Cisco IPICS Dispatch Console のアップグレードが入手できることを検出した場合に、これらのダイアログボックスの 1 つが表示されます。[Recommended Upgrade] ダイアログボックスが表示されると、アップグレードのオプションを選択できます。また、[Mandatory Upgrade] ダイアログボックスが表示されると、アップグレードを要求されます。
- アップグレードを実行するには、次の手順に従います。
    - [Yes] をクリックします。[Cisco IPICS Server Authentication] ウィンドウが表示されます。
    - Cisco IPICS Dispatch Console を「[Cisco IPICS Dispatch Console のアンインストール](#)」(P.2-6) の記載に従ってアンインストールします。
    - 「[インストール手順](#)」(P.2-3) の手順に従います。

- アップグレードが推奨される場合に、すぐにアップグレードを実行しないときは、[No] をクリックしてログインプロセスを続行します。

関連情報については、「[アップグレードについて](#)」(P.1-10) を参照してください。

**ステップ 5** ダイアログボックスで、アラート トーン パッケージのダウンロードをするかどうかの確認を要求された場合は、画面の指示に従ってダウンロードをするか、ウィンドウを閉じます。

このダイアログボックスは、システムがアラート トーン パッケージが入手できることを検出した場合に表示されます。ダウンロードした場合、Cisco IPICS Dispatch Console でアラート トーンが使用可能になります。

**ステップ 6** [Select your Location] 画面で、次の操作を実行します。

- a. (オプション) [Location] フィールドで、接続先のロケーションを選択します。

最適な接続のため、Cisco IPICS Dispatch Console にログインするときは、使用する接続タイプに最適なロケーションを使用します。たとえば、無線接続の使用中には、組織の無線接続に関連付けられているロケーションを選択します。適切な接続タイプを選択することにより、より高品質な音声を確認できます。リモート接続では常に G.729 (圧縮) コーデックが使用されるため、このタイプの接続では音声品質がわずかに低下します。リモート接続では、マルチキャスト チャネルに直接チューニングされる RMS コンポーネントへの SIP ベースのトランキングを使用します。

- b. [IDC Version] フィールドが空の場合、[Cancel] をクリックしてログインプロセスを終了してから、サポートされるバージョンの Cisco IPICS Dispatch Console を「[Cisco IPICS Dispatch Console のインストール](#)」(P.2-1) の記載に従ってインストールします。
- c. [OK] をクリックします。

Cisco IPICS Dispatch Console が表示されます。

## Cisco IPICS Dispatch Console の終了

Cisco IPICS Dispatch Console を終了するには、[File] > [Close] を選択し、[OK] をクリックして確認します。このプロセスにより、Cisco IPICS Dispatch Console からログアウトされてアプリケーションが終了します。終了時に、Cisco IPICS Dispatch Console を介して確立した接続またはコールがあれば切断されます。

# Cisco IPICS Dispatch Console ライセンス タイプ

Cisco IPICS Dispatch Console は、Silver ユーザ ライセンスまたは Platinum ユーザ ライセンスのいずれかを使用して実行できます。Cisco IPICS サーバに Cisco IPICS Dispatch Console からログインするときに、システムはライセンス タイプを自動的に判別します。判別は、同時に使用可能なライセンス数および Cisco IPICS ユーザ ロールに基づきます。ライセンスのタイプにより、Cisco IPICS Dispatch Console の機能に次のようにアクセスできます。

- **Platinum ユーザ ライセンス** : すべての Cisco IPICS Dispatch Console 機能にアクセスできます。
- **Silver ユーザ ライセンス** : 項目タブ エリアの [VTGs] タブおよび [Incidents] タブを除く、すべての機能にアクセスできます。したがって、Silver ユーザ ライセンスでは、インシデントまたは VTG の追加ができません (図 3-1 (P3-2) に、Platinum ユーザ ライセンスの場合の項目タブ エリアを示します)。

Cisco IPICS Dispatch Console の起動時に、ライセンスが次のように付与されます。

- Cisco IPICS の Dispatcher ロールまたは All ロールを持つユーザには、Platinum ユーザ ライセンスが使用可能であれば付与されます。Platinum ユーザ ライセンスが使用可能でない場合、Silver ユーザ ライセンスがユーザに付与されます。いずれのライセンス タイプも使用可能でない場合、このユーザはライセンスが使用可能になるまで Cisco IPICS Dispatch Console を起動できません。
- Cisco IPICS の Dispatcher ロールまたは All ロール以外のユーザには、Silver ユーザ ライセンスが使用可能であれば付与されます。Silver ユーザ ライセンスが使用可能でない場合、このユーザは Silver ユーザ ライセンスが使用可能になるまで Cisco IPICS Dispatch Console を起動できません。

使用可能ライセンス数の判別方法を含む Silver ユーザ ライセンスおよび Platinum ユーザ ライセンスの詳細については、『*Cisco IPICS Administration Guide*』を参照してください。


# Cisco IPICS Dispatch Console の動作モード



Cisco IPICS Dispatch Console は、次のいずれかの動作モードで機能できます。

- **オンラインモード** : Cisco IPICS Dispatch Console は、Cisco IPICS サーバに接続します。このモードでは、無線、チャンネル、およびダイヤル通信機能が正常に動作します。また、Cisco IPICS Dispatch Console は、Cisco IPICS サーバを定期的にポーリングして、サーバから設定、VTG、インシデントなどに更新がされたかを判別します。更新がされている場合、Cisco IPICS Dispatch Console の情報および表示がサーバの提供する情報に従って更新されます。
- **オフラインモード** : Cisco IPICS Dispatch Console は、Cisco IPICS サーバに接続しません。このモードでは、無線およびチャンネル通信が動作しますが、Cisco IPICS Dispatch Console は、Cisco IPICS サーバから更新を受け取りません。

Cisco IPICS Dispatch Console から Cisco IPICS サーバへの接続が、失われてから 15 分以内（デフォルト）に回復した場合、Cisco IPICS Dispatch Console は自動的にオンラインモードになります。15 分経過した後に接続が回復した場合は、サーバにログインしてオンラインモードに戻す必要があることをポップアップメッセージによって通知されます。[OK] をクリックしてログインします（このデフォルトの 15 分の期間は、Cisco IPICS Administration Console 内で [Logout Client After] オプションを更新することにより変更できます）。

動作モードは、Cisco IPICS Dispatch Console の動作モードインジケータを見て判別できます。動作モードインジケータは、Cisco IPICS Dispatch Console メインウィンドウの右下部分にある [System Information] エリアに表示されます（[図 3-35 \(P.3-92\)](#) を参照）（[System Information] エリアが見えない場合は、Cisco IPICS

Dispatch Console メインウィンドウの下部の Cisco ロゴのすぐ下にある表示ボタン  をクリックします）。動作モードインジケータは次のように表示されます。

-  : 緑は、Cisco IPICS Dispatch Console がオンラインモードであることを示します。
-  : 赤は、Cisco IPICS Dispatch Console がオフラインモードであることを示します。

オフラインモードには、次のガイドラインが適用されます。

- IDC をオフラインモードで使用するには、少なくとも 1 回は IDC から Cisco IPICS サーバにログインに成功している必要があります。
- Cisco IPICS サーバがオンライン状態に戻った後で IDC へのログインを試みると、無効なユーザまたはパスワードのエラーが発生する場合があります。サーバデータベース復元中のサーバに IDC が接続を試みた場合に、この状況が起こる可能性があります。

- IDC の実行中に RMS エントリが変更された場合、SIP ベースのチャンネルが切断される可能性があります。IDC は、新規割り当てされた SIP チャンネルを含む更新されたチャンネル リストをサーバへのログイン成功後に取得します。

## Cisco IPICS Dispatch Console ユーザ タイプ別に使用可能な機能

Cisco IPICS Dispatch Console で使用可能な機能は、Cisco IPICS ロールにより決定されます。Cisco IPICS の Dispatcher ロールまたは All ロールのユーザは、すべての機能にアクセスできます（「[Cisco IPICS Dispatch Console ライセンス タイプ](#)」(P.1-6) に記載のとおり Platinum ユーザ ライセンスが付与されている場合）。Cisco IPICS の Dispatcher ロールまたは All ロール以外のユーザは、一部の機能にしかアクセスできません。

Cisco IPICS ユーザ ロールに基づいて、次の Cisco IPICS Dispatch Console 機能が使用不可になるか使用が制限されます。

- 項目タブ エリア：
  - [VTGs] タブ：Dispatcher ロールまたは All ロールを持ち、かつ Platinum ユーザ ライセンスを保持するユーザのみが、このタブにアクセスできます。つまり、これらのユーザのみが VTG を追加できます。
  - [Incidents] タブ：Dispatcher ロールまたは All ロールを持ち、かつ Platinum ユーザ ライセンスを保持するユーザのみが、このタブにアクセスできます。つまり、これらのユーザのみがインシデントを追加できます。
  - [Policies] タブ：Dispatcher ロールまたは All ロールを持つユーザには、Cisco IPICS Administration Console に設定されたすべてのポリシーが表示されます。他のユーザには、ユーザに関連するポリシーのみが表示されます。
- [VTG Details] タブ：Dispatcher ロールまたは All ロールを持つユーザのみがこのタブにアクセスできます。つまり、これらのユーザのみが機能の VTG リソースを更新できます。
- [Incident Details] タブ：Dispatcher ロールまたは All ロールを持つユーザが、このタブのすべての機能を使用できます。他のユーザは、ジャーナル、イメージ、ビデオのみを追加できます。
- [Dial Pad and Channel Patch] エリア：Dispatcher ロールまたは All ロールを持つユーザのみが、このエリアを表示できます。



# インシデントについて

インシデントとは、Cisco IPICS Dispatch Console に作成するイベントのことで、さまざまなユーザが Cisco IPICS Dispatch Console を使用してイベントに対する応答を調整できます。Cisco IPICS Dispatch Console には、インシデント内のリソースを管理することによるインシデントへの応答機能があります。

インシデントは、火事やその他の状況など、応答を必要とするいかなるイベントにもなりえます。リソースには、インシデントに対して連携して応答するチャンネル、無線、VTG、およびユーザが含まれます。インシデント参加者は、インシデントに関連するジャーナル（テキスト エントリ）、イメージ、およびビデオをアップロードしたり共有できます。

インシデントの作成には、Cisco IPICS Dispatch Console を使用します。作成したインシデントは、Cisco IPICS サーバのインシデント リストに追加されて（Cisco IPICS Dispatch Console がオンライン モードの場合）サーバにアクティブ状態で置かれます。また、インシデントを作成したユーザもリソースとしてインシデントに追加されます。アクティブ インシデントとは、Cisco IPICS Dispatch Console でアクセスできるインシデントであり、インシデントにはリソースの追加または削除ができ、インシデントに対して他のアクティビティを実行できます。

インシデントの参加者は、そのインシデントに対してインシデント VTG をアクティブ化するまでインシデント リソースを介して互いに通信できません。インシデント VTG は、インシデントの一時的トーク グループです。インシデント VTG をアクティブ化すると、次のイベントが発生します。

- 内部 VTG が Cisco IPICS サーバに作成されます。サーバは内部 VTG を使用してインシデントに対する通信をイネーブルにします。インシデント VTG は、Cisco IPICS サーバの正規 VTG リストに表示されません。
- 音声機能向けのすべてのリソース（チャンネル、無線、他の VTG）がインシデント VTG に追加されます。
- Cisco IPICS は、他のシステム リソースが VTG を介して通信できるようにします。

必要に応じて、Cisco IPICS Dispatch Console からインシデント VTG をアクティブ化したり非アクティブ化したりできます。インシデント VTG が非アクティブの場合でも、インシデントにリソースを追加および削除できます。インシデント VTG を非アクティブ化しても、Cisco IPICS サーバからインシデントを非アクティブ化しません。インシデントを非アクティブ化するには、Cisco IPICS Administration Console を使用します。非アクティブ化すると Cisco IPICS Dispatch Console には表示されなくなります。

# ハイ アベイラビリティ展開における Cisco IPICS Dispatch Console の使用方法

High Availability (HA; ハイ アベイラビリティ) は、プライマリ Cisco IPICS サーバに障害が発生した場合に、通信を中断せずにセカンダリ サーバが自動的に引き継ぐ Cisco IPICS のオプション機能です。

Cisco IPICS Dispatch Console で HA を利用できるようにするには、Cisco IPICS サーバ上で HA を設定した後に Cisco IPICS Dispatch Console からアクティブ サーバにログインします。プライマリ Cisco IPICS サーバにログインしたことが一度もなく、フェールオーバーのためにセカンダリ サーバがアクティブ サーバの場合は、セカンダリ サーバにログインします。

Cisco IPICS Dispatch Console は、HA 環境では次のように動作します。

- Cisco IPICS Dispatch Console からプライマリ Cisco IPICS サーバにログインした場合でフェールオーバーが発生したとき、Cisco IPICS Dispatch Console は自動的にセカンダリ サーバに接続します。セカンダリ サーバが使用不可能な場合、Cisco IPICS Dispatch Console はオフラインモードになります。
- フェールオーバー発生後に Cisco IPICS Dispatch Console からプライマリ Cisco IPICS サーバにログインすると、ログインは自動的にセカンダリ サーバにリダイレクトされます。

フェールオーバーまたはフォールバック後は、Cisco IPICS Dispatch Console で最長で数秒間、音声が中断する場合があります。

## アップグレードについて

Cisco IPICS は、特定のバージョンの Cisco IPICS Dispatch Console で動作します。Cisco IPICS Dispatch Console を起動すると、Cisco IPICS は使用中の Cisco IPICS Dispatch Console のバージョンを確認します。アップグレードを使用できる場合、Cisco IPICS Dispatch Console からアップグレードの実行を要求されます。

アップグレードには次の 2 種類があります。

- 推奨：このアップグレードでは、Cisco IPICS Dispatch Console のアップグレードを実行するかどうかを選択できます。同意しない場合は、引き続き既存のバージョンを使用できます。
- 必須：このアップグレードでは、アップグレードを実行しないと Cisco IPICS Dispatch Console を使用できません。